

関西学院大学大学院 2022年度 第1次 社会学研究科 入学試験問題

試験科目	社会学専攻		専門科目
試験時間	90分	持ち込み一切不可	1/1

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 盛山和夫ほか編『社会学入門』では、「1960年代の後半くらいから、社会学は新しい展開を見せる」と述べられています。どのような「新しい展開」があり、そうした新たな展開が生じた理由について論じなさい。【社会学】
- B. 社会学に隣接する学問領域の中から、社会学にとってもっとも重要だとあなたが考えるものを1つあげ、その理由を論じなさい。【社会学】
- C. ドイツ民族学の流れをくむボアズ (Franz Boas) がアメリカで発展させた文化概念について、フランス啓蒙主義のもとで発展した文明概念と比較させて述べなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 確証バイアスに関して、関連する研究を例示しながら、多面的に記述しなさい。【社会心理学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. スマートフォンの普及について、社会学の知見をふまえて論じなさい。【社会学】
- B. 「コミュニティ (community)」と「ソサエティ (society)」について、説明しなさい。【社会学】
- C. フィールドワークの実施について、次の3点に留意して述べなさい。①国外と国内、②調査者の属性 (例えば年齢やジェンダー)、③フィールドの外的要因 (例えば自然環境や政治状況)。【文化人類学・民俗学】
- D. 研究結果の一般化可能性 (外的妥当性) に関して論述する際の留意点について述べなさい。【社会心理学】

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

- 1. インナーシティ (inner city) 【社会学】
- 2. ノーマライゼーション (normalization) 【社会学】
- 3. 生活環境主義 【社会学】
- 4. ポスト・フォードイズム (post-Fordism) 【社会学】
- 5. エスニック・リバイバル (ethnic revival) 【社会学/文化人類学・民俗学】
- 6. クィア・スタディーズ (queer studies) 【社会学/文化人類学・民俗学】
- 7. 社会進化論 (social evolutionism) 【文化人類学・民俗学/社会学】
- 8. トロブリアンド諸島のクラ (Kula on the Trobriand Islands) 【文化人類学・民俗学】
- 9. 通過儀礼 (rites of passage) 【文化人類学・民俗学】
- 10. 二つのミンゾクガク (民族学・民俗学) (ethnology and folkloristics) 【文化人類学・民俗学】
- 11. サピアとウォーフの仮説 (hypothesis of Sapir and Whorf) 【文化人類学・民俗学】
- 12. ステレオタイプ脅威 (stereotype threat) 【社会心理学】
- 13. 社会的手抜き (social loafing) 【社会心理学】
- 14. 目標伝染 (goal contagion) と非意識的模倣 (unconscious mimicry) 【社会心理学】
- 15. 操作チェック (manipulation check) 【社会心理学】
- 16. 測定信頼性 (reliability) と妥当性 (validity) の関係 【社会心理学】
- 17. 交互作用効果 (interaction effect) 【社会心理学/社会学】

関西学院大学大学院 2022年度 第2次 社会学研究科 入学試験問題

試験科目	社会学専攻	専門科目
試験時間	90分	1/1
	持ち込み一切不可	

解答は、別紙に記入すること。

I. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 社会学における仮説検証型研究の事例を示し、この研究方法のメリットとデメリットを論じなさい。【社会学】
- B. 「SOGI」の意味を説明し、この言葉が注目を集めるにいたった社会的背景について論じなさい。【社会学】
- C. 文化相対主義の歴史的発展について述べ、その限界と可能性を多文化主義との関係で論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 十分な根拠がないにもかかわらずステレオタイプが不当に形成される過程（そこに介在する心理過程）に関して多面的に記述しなさい。【社会心理学】

II. 次の4問の中から1つを選んで答えなさい。(30点)

- A. 新型コロナウイルスの世界的な広がりによって生じた現象を1つ取り上げ、社会学的に解説しなさい。【社会学】
- B. 「マスカルチャー (mass culture)」と「ポピュラーカルチャー (popular culture)」に関して、両者の異同 (相違点と共通点) に留意しながら、それぞれについて論じなさい。【社会学】
- C. 代表的な贈与論と互酬性理論について説明したうえで、日本におけるモノのやりとりについて論じなさい。【文化人類学・民俗学】
- D. 近年、統計的検定への過度の依拠から脱却するために効果量とその信頼区間を算出し、それらを踏まえて結果の解釈を行うことが求められるようになってきた。このことに関わる以下の事柄について記述しなさい。【社会心理学】
  - 1) 統計的検定において「差がある」ことを主張する際の論理
  - 2) 統計的検定の問題点
  - 3) 効果量の定義
  - 4) 効果量とその信頼区間を踏まえて結果の解釈を行うことの利点

III. 次の用語の中から4つを選んで説明しなさい。(10点×4)

- 1. 公共性【社会学】
- 2. シンボリック相互作用論 (symbolic interactionism)【社会学】
- 3. 社会的包摂 (social inclusion)【社会学】
- 4. グローバル・ビレッジ (global village)【社会学】
- 5. 資源動員論 (resource mobilization theory)【社会学】
- 6. コンテンツ・ツーリズム (contents tourism)【社会学/文化人類学・民俗学】
- 7. 構造機能主義 (structural functionalism)【文化人類学・民俗学/社会学】
- 8. コミュニタス (communitas)【文化人類学・民俗学/社会学】
- 9. 戦略的本質主義 (strategic essentialism)【文化人類学・民俗学/社会学】
- 10. 呪術と妖術 (magic and witchcraft)【文化人類学・民俗学】
- 11. 柳田國男『遠野物語』(Kunio Yanagita, *The Legends of Tono*)【文化人類学・民俗学】
- 12. 連合ネットワークモデル (associative network model) と活性化拡散 (spreading activation)【社会心理学】
- 13. 近言語 (または、パラ言語: paralanguage)【社会心理学】
- 14. カバー・ストーリー (cover story)【社会心理学】
- 15. ナイーブ・シニシズム (naive cynicism)【社会心理学】
- 16. 収束的妥当性 (convergent validity) と弁別的妥当性 (discriminant validity)【社会心理学】

※【社会学】【文化人類学・民俗学】【社会心理学】は出題分野を表しています。